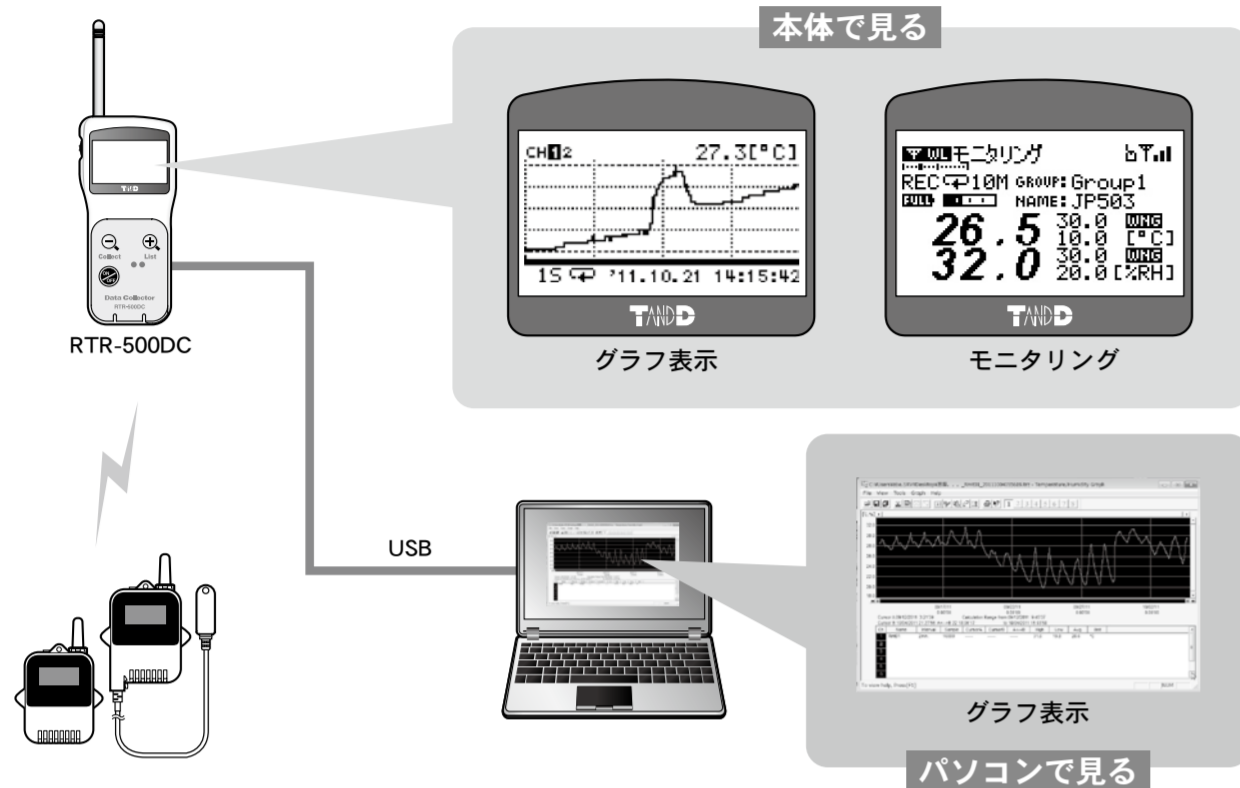


Data Collector RTR-500DC 基本ガイド

RTR-500DC できること

RTR-500DCは、子機登録したデータロガーの記録データを無線通信で収集できるハンディタイプのデータコレクタです。持ち歩きに適した通信機能性、デザイン性、操作性を持ち、記録データ収集のためにデータロガーを測定場所から回収する必要がありません。また、その場でグラフ表示して、吸い上げた記録データの内容を確認することができます。



本体で見る

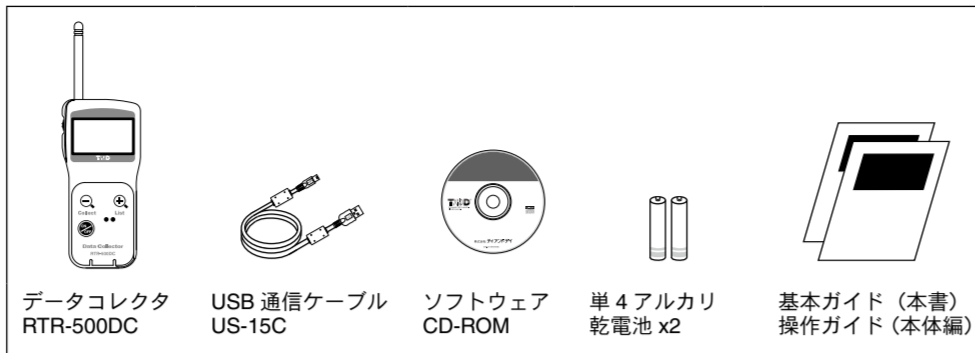
モニタリング

グラフ表示

グラフ表示

パソコンで見る

パッケージ内容の確認



本書では、RTR-500DC 本体で記録データ・現在値を表示する方法と、付属のソフトウェア“温度・湿度グラフ”または“マルチスケールグラフ”を使用して記録データをグラフ表示する方法を説明しています。

本製品で用いられる用語について

親機、本体	RTR-500DC
子機	RTR-500DC 対応のデータロガー (RTR-501/502/503/505/507/574/576)
中継機	RTR-500C
現在値	子機の最新の測定値
記録データ	子機に記録されている測定値

本体の初期設定をしよう

ソフトウェアをインストールする前に RTR-500DC をパソコンに接続しないでください

STEP 1 パソコンにソフトウェアをインストールする

- Windows を起動し、Administrator (管理者) 権限でログインします。
- CD-ROM を CD/DVD ドライブにセットします。
- [インストールプログラム] ウィンドウが開きます。

[自動再生] ウィンドウが表示された場合
[start.exe の実行] をクリックしてください。

[インストールプログラム] ウィンドウが表示されない場合
CD/DVD ドライブ内の [start.exe] のアイコンをダブルクリックしてください。

- [RTR-500DC for Windows のインストール] を選択し、[実行] ボタンをクリックします。



- 画面の指示に従ってソフトウェアをインストールしてください。
- インストールの途中で、以下のような画面が表示された場合、[インストール] または [続行] ボタンをクリックしてください。



- インストールの完了後、Windows のスタート画面、またはスタートメニューに "RTR-500DC for Windows" が登録されます。

STEP 2 パソコンに RTR-500DC を接続する

- スタート画面またはスタートメニューより RTR-500DC for Windows を起動します。
- [RTR-500DC 設定ユーティリティ] を起動します。右記ウィンドウが表示されます。



- 付属の USB ケーブルでパソコンに RTR-500DC を接続します。自動で USB ドライバのインストールが始まります。



- USB ドライバのインストールが完了すると、RTR-500DC の設定画面* が自動的に起動します。

* 以後、設定画面と記載します。



設定画面が自動的に表示されない場合

USB ドライバのインストールに失敗している可能性があります。[機器を認識しないときは] をご覧になり、USB ドライバの確認をしてください。



STEP 3 パソコンから本体の時刻設定をする

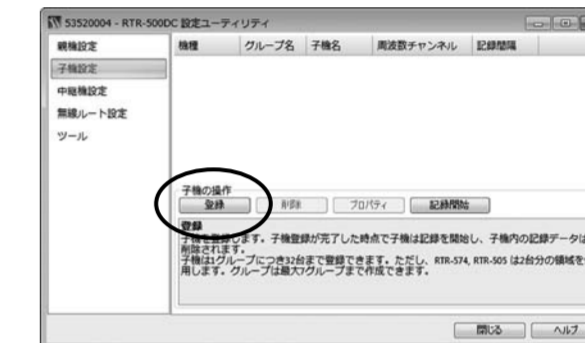
- [親機設定] メニューを開きます。
- 時刻欄をクリックし、RTR-500DC の時刻を設定します。



- 画面下にある [適用] ボタンで、設定を適用します。

STEP 4 子機登録をする

- RTR-500 シリーズの子機を準備します。子機の取扱説明書をご覧ください。
- 設定画面内の [子機設定] をクリックします。手元に子機を準備した後、[登録] ボタンをクリックします。



- 画面の指示に従って子機をパソコンに接続します。

RTR-501/502/503/505/507

RTR-574/576



子機を RTR-500DC に載せます。

RTR-574/576 をパソコンと USB 接続します。複数の子機を同時に接続しないでください。

RTR-574/576 を接続しても画面が変わらない場合

USB ドライバのインストールに失敗している可能性があります。[機器を認識しないときは] をご覧になり、USB ドライバの確認をしてください。

- [子機登録] 画面が開きます。下記情報を入力し、最後に [登録] ボタンをクリックします。

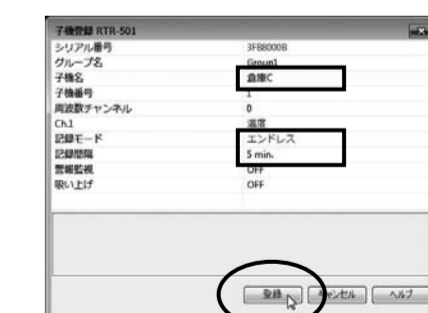
子機名	子機を識別するための名前を入力します
記録モード	ワンプタイム: 記録データ数が上限に達すると記録を停止します。 エンドレス: 記録データ数が上限に達すると 1 番古いデータから上書きし、記録を続けます。
記録間隔	記録間隔を選択します

記録間隔と記録可能時間の例

	記録間隔			
	1 秒	30 秒	15 分	60 分
RTR-501/502/505	約 4 時間 26 分	約 5 日 13 時間	約 166 日 16 時間	約 1 年 10 ヶ月
RTR-503/507/574/576	約 2 時間 13 分	約 2 日 18 時間	約 83 日 8 時間	約 11 ヶ月

RTR-501/502/505 (データ記録容量 16,000 個)
例: 記録間隔 30 秒 x データ数 16,000 個 = 480,000 秒 (約 5 日 13 時間)
RTR-503/507/574/576 (データ記録容量 8,000 個)
例: 記録間隔 30 秒 x データ数 8,000 個 = 240,000 秒 (約 2 日 18 時間)

- 子機登録の完了と同時に記録を開始します。複数の子機を登録する場合は、手順 1. から繰り返してください。



子機の登録内容は後から変更できます。登録内容の変更方法、設定項目の詳細については、RTR-500DC 設定ユーティリティのヘルプをご覧ください。

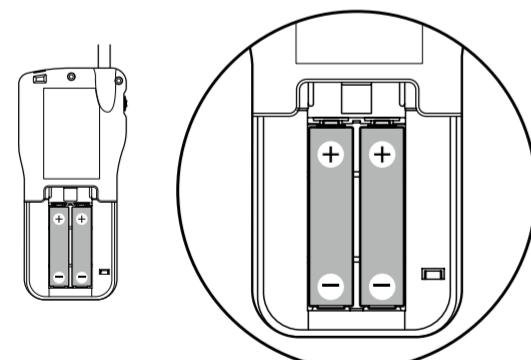
本体の準備をしよう

STEP 1 本体に電池をセットする

同じ種類の新しい電池を使用してください。

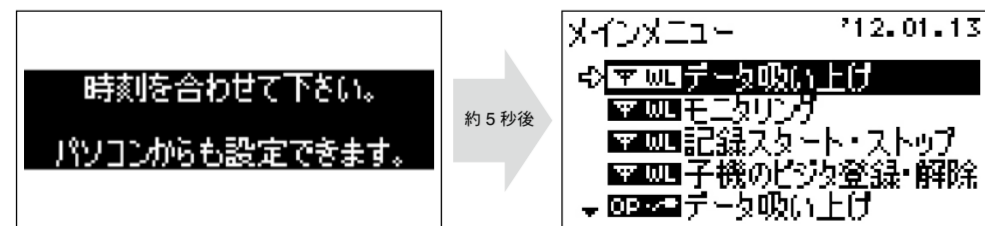
+/- を間違えないようにセットしてください。

- 背面の電池フタを外し、電池をセットします。



- 電池をセットすると自動的に電源が入ります。

時刻合わせのメッセージが表示された後、メインメニューが表示されることを確認します。



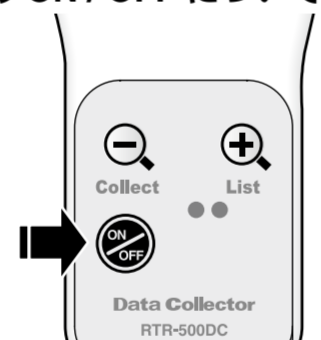
本体の操作方法について

基本的な操作方法について説明します。

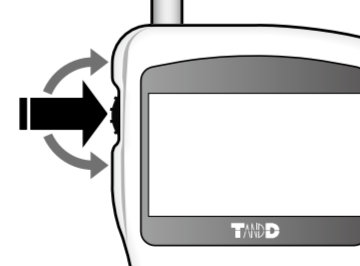
電源の ON / OFF について

<ON / OFF> ボタンを押すと電源が入ります。再度押し、電源を切ることが出来ます。

3 分以上本体を操作しないと、自動的に電源が切れます。



ジョグダイヤルの操作



回転:
メニューや項目名の選択、数値の変更に利用します。

押し:
OK / キャンセル決定時に利用します。

長押し:
グラフ表示時に表示チャンネルを切り替えます。

ボタンの操作



Collect



List

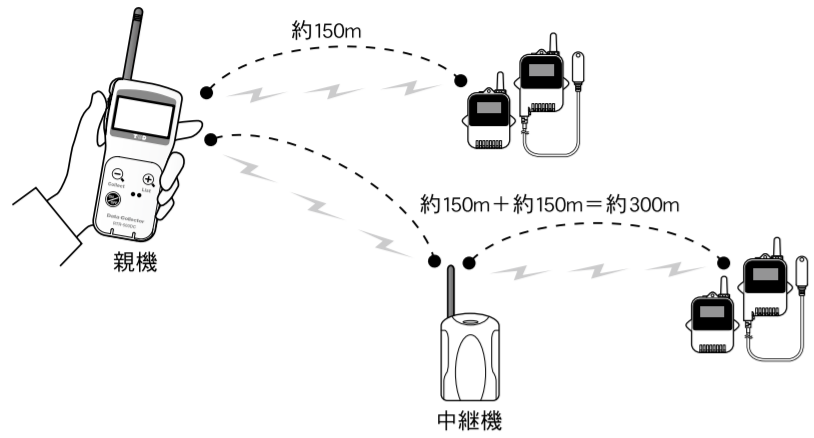
- [] データ吸い上げ] 画面を表示します。
- グラフ表示時にグラフを縮小します。

- [] データ操作・リスト] 画面を表示します。
- グラフ表示時にグラフを拡大します。

使ってみよう

STEP 1 設置をする

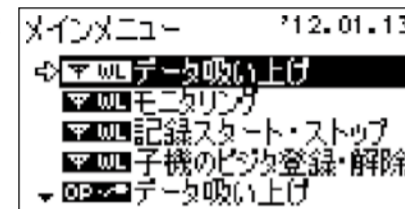
子機を設置します。無線通信距離は、見通しのよい直線距離で約150mです。



中継機を増設することで無線通信距離を延ばすことができます。詳しくは、RTR-500DC 設定ユーティリティのヘルプ、または RTR-500C の基本ガイドをご覧ください。

STEP 2 子機から記録データを本体に吸い上げる

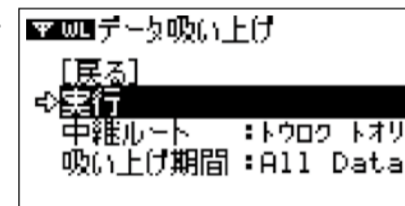
1. メインメニューより [WML データ吸い上げ] を選択します。



2. [子機指定] を選択し、対象子機の所属しているグループ名→吸い上げを行う子機名の順に指定します。

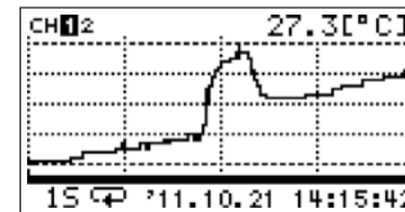


3. [実行] を選択して <ジョグダイヤル> を押すと、記録データの吸い上げを開始します。



記録データをグループ毎にまとめて吸い上げることもできます。詳しくは操作ガイド(本体編)の*無線通信で子機のデータを吸い上げる*をご覧ください。

4. 吸い上げが完了すると、自動的にグラフを表示します。



グラフの操作



カーソルの移動

ジョグダイヤルを回します。

表示チャンネル切り替え

ジョグダイヤルを1秒以上長押しします。

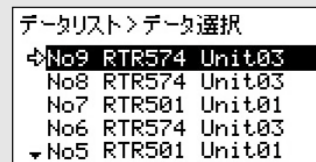
グラフの拡大

本体の <List> ボタンを押します。拡大を元に戻すには <Collect> ボタンを押します。

最大値/最小値へカーソルを移動

グラフの全体表示中に <Collect> ボタンを押します。

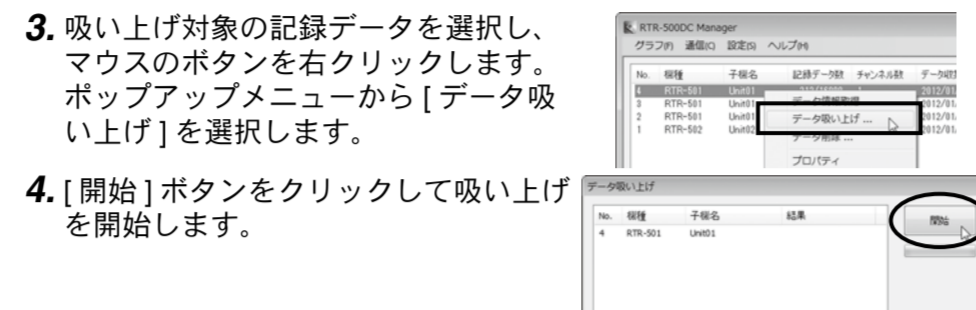
- 吸い上げた記録データは、[データ操作・リスト] 画面から開くことができます。
- RTR-574 / 576 をご利用の場合、記録データが2つに別れて保存されます。
 - RTR-574: 照度 / 紫外線強度 [1, 2ch] と温度 / 湿度 [3, 4ch]
 - RTR-576: CO2 濃度 [1ch] と温度 / 湿度 [2, 3ch]
- 吸い上げた直後は照度 / 紫外線強度 (あるいは CO2 濃度) のグラフが表示されます。温度 / 湿度のグラフは [データ操作・リスト] 画面から確認することができます。



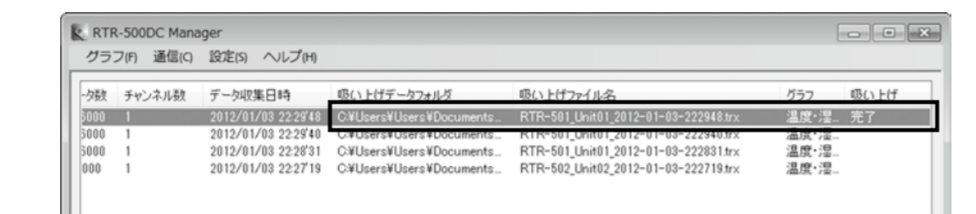
STEP 3 吸い上げた記録データをパソコンに保存する

1. [RTR-500DC Manager] を起動します。

2. 付属の USB ケーブルで、パソコンに RTR-500DC を接続します。自動的に本体内の記録データが一覧表示されます。



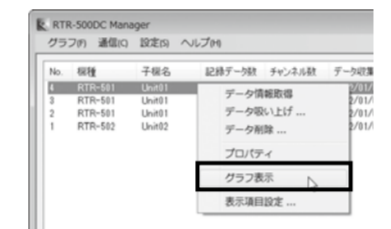
5. 記録データがパソコンに保存されます。



STEP 4 記録データを表示する

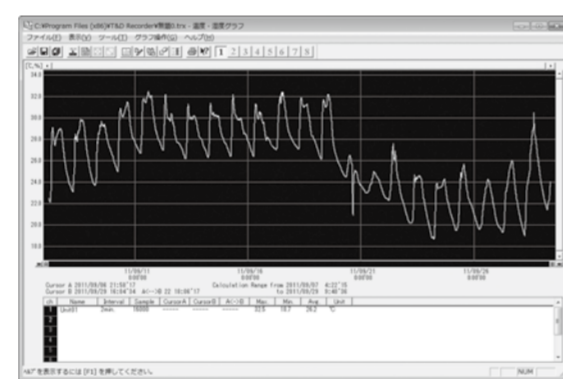
記録データを表示する

- データ一覧画面から記録データを選択した状態で右クリックします。
- ポップアップメニューから、[グラフ表示] を選択します。



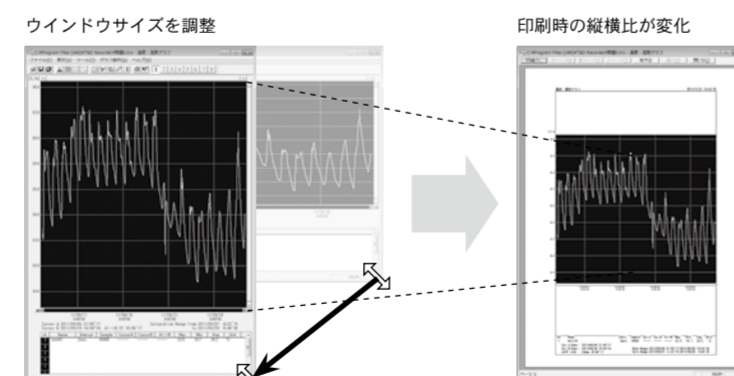
- RTR-574 / 576 をご利用の場合、記録データが2つに別れて保存されています。データをまとめて1つのグラフとして表示するには、2つの記録データを選択した状態で [グラフ表示] してください。
- RTR-574: 照度 / 紫外線強度 [1, 2ch] と温度 / 湿度 [3, 4ch]
- RTR-576: CO2 濃度 [1ch] と温度 / 湿度 [2, 3ch]
- 記録データのファイルをダブルクリックして直接グラフを開くこともできます。

3. 温度・湿度グラフまたはマルチスケールグラフが開きます。



記録データを印刷する

- 記録データをグラフで開きます。
- グラフウィンドウのサイズを変更して、グラフ表示の縦横比を調整します。



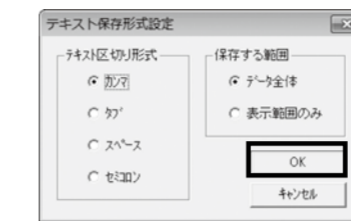
3. [ファイル] メニューより [印刷プレビュー] を選択します。印刷イメージを確認します。必要に応じて手順 2. に戻り、グラフの縦横比を変更します。

4. [印刷] ボタンをクリックして印刷を開始します。

記録データを表計算ソフトに取り込む

記録データを、市販の表計算ソフト等で読み込み可能な形式 (CSV ファイル) に変換します。

- 記録データをグラフで開きます。
- [ファイル] メニューより [データをテキスト形式で保存] を選択します。右記ウィンドウが表示されたら [OK] ボタンをクリックします。

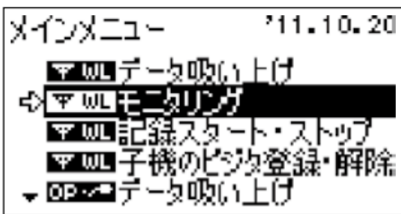


3. 出力先のフォルダ、ファイル名を入力します。[保存] ボタンをクリックすると、ファイルが出力されます。

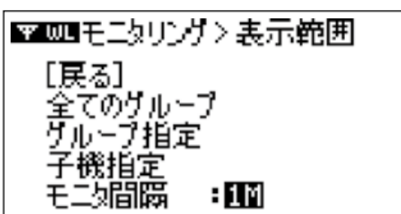
子機をモニタリングする

子機と無線通信し、現在値や子機の状態を取得することができます。

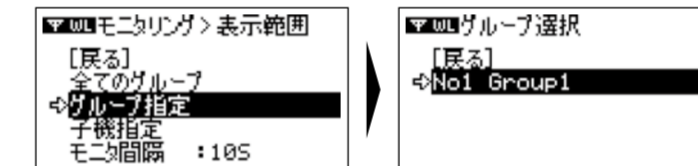
1. メインメニューより [WML モニタリング] を選択します。



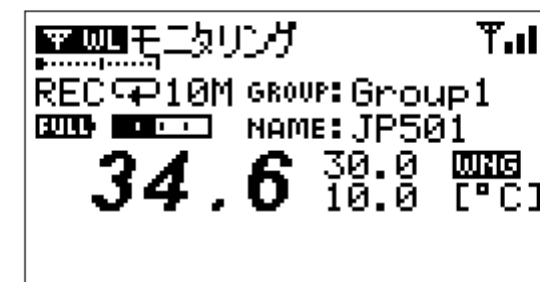
2. [モニタ間隔] を選択し、子機と通信を行う間隔を指定します。



3. [グループ指定] を選択し、対象子機の所属しているグループ名を指定します。

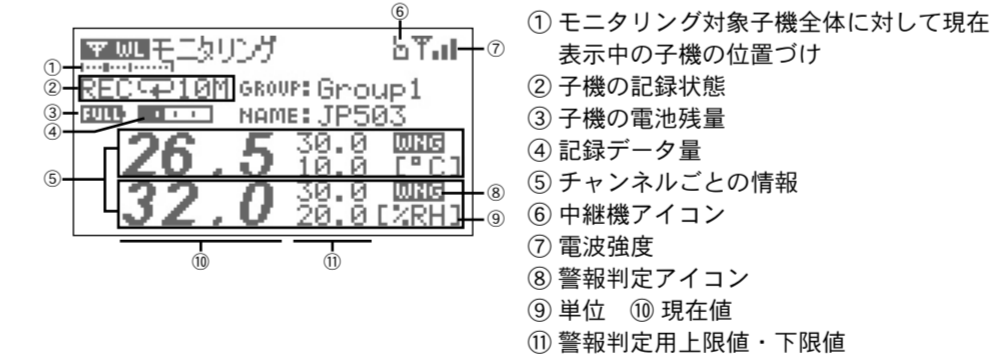


4. [トイ7枚子] 画面表示後、子機の現在値や状態を表示します。



モニタリング画面のみかた

すべてのグループ、またはグループを指定してモニタリングする場合、2秒ごとに表示する子機が切り替わります。



手動での表示子機切り替え

ジョグダイヤルを回します。

モニタリングの終了

ジョグダイヤルを押します。

通信エラーにより情報を取得できない場合、その子機の現在値や状態は表示されません。詳しくは操作ガイド(ソフトウェア編)の*困ったときは*をご覧ください。

ユーザー登録・お問い合わせフォーム

<http://www.tandd.co.jp/support/>

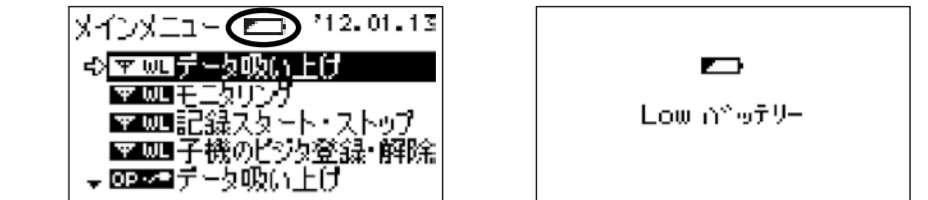
ユーザー登録、お問い合わせフォームはこちらから。ユーザー登録して頂きますと製品別サポート情報をお届けいたします。最新のソフトウェア・取扱説明書のダウンロードもできます。

Tips 電池の交換について

5分以上電源が供給されない状態が続くと、全ての記録データが消失します。電池交換は素早く行ってください。

電池交換の時期になると、電池寿命警告マークが表示されます。電池交換せずに使用を続けると、記録データを保護するためにスリープモードになります。スリープモードでは RTR-500DC の操作をすることはできません。

電池寿命警告マーク (メインメニュー) スリープモード (電源投入時)



困ったとき・詳細情報は



基本ガイド:

本書を PDF ファイルで記載しています。

操作ガイド (本体編):

本体の取り扱い方を説明した操作ガイドを PDF ファイルで記載しています。

操作ガイド (ソフトウェア編):

画面、イラストを使った分かりやすい解決策や、本書に記載されていない詳しい操作方法が記載してあります。

機器を認識しないときは:

本体の初期設定をしよう (2) で、本体をパソコンに接続しても画面が変わらない場合の USB デバイスドライバのインストール、確認方法を詳しく記載しています。

アップデート情報:

アップデート情報を取得します。